令和５年度　　１学年　保健体育科　年間指導計画・評価計画　担当［斎藤・近藤・篠原］

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
体育や保健の見方･考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康 を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質･能力を次のとおり育成することを目指す。 （1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康･安全に ついて理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。 （2)運動や健康についての自他の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。 （3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を 目指し，明るく豊かな生活を営む態度を養う。	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また，個人生活における健康･安全について科学的に理解しているとともに，基本的な技 能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに，それらを他者に伝えている。また，個人生活における健康に関する課題を発見し，その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに，それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	単元当初での診断的評価を基に、学習の重点項目を検討し、学び合いにより集団全員の学びの充実を図る。 単元半ばに技能テストを実施し、技能の習得状況をフィードバックした上で、集団技能や発展技能の習得を目指すことで、積み上げを可能とする。 写真や動画を PC で撮影し、模範との比較レポートやデータからの分析を行うことで理解を深める。

◎単元（１～数十時間の学習内容のまとまり）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元･教材	ICT との関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学びに向かう態度
4 9 1	体つくり運動	○ICT機器で明示された目標、授業の流れを確認し、学ぶべき内容をイメージ化する。また、学習の効率化を図り、課題に取り組む時間をより多く確保する。 ○ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄや画像などを通して興味関心をもつ。また、課題の明確化や解決の効率化、及び探究するための資料として活用する。 ○ﾌｫﾄﾗﾝｹﾞｰｼﾞの実施を通して、感じ、読み解くなどの想像力を高め、多様な感じ方があることに気付く。	8	（知識） ※｢技能｣の評価基準は設定しない。 ･体つくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 （運動） 手軽な運動を行い，心と体との関係や心身の状態に気付き，仲間と積極的に関わり合うこと	･自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	･体つくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること、話合いに参加しようとすることなどをしたり、健康･安全に気を配ったりしている。
4 5	陸上競技 （短距離走･ リレー）		6	（知識）※陸上競技共通 ･陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 （技能） ･滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。	･動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	･陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり、健康･安全に気を配ったりしている。
10	陸上競技 （持久走）		6	（技能） ･持続して走る力をつけることで体力を向上させる。		
11	陸上競技 （走り高跳び）		6	（技能） ･リズミカルな助走から力強く踏み切り大きな動作で跳ぶことができる。		
12	器械運動 （マット運動）		8	（知識） ･器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 （技能） ･回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。	･技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	･器械運動に積極的に取り組むとともに、良い演技を認めようとすること、仲間の学習を援助しようとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり、健康･安全に気を配ったりしている。
6 10 1	体育理論		3	（知識） ･運動やスポーツが多様であることについて理解している。 ※｢技能｣に関わる評価対象がないことから設定しない。	･運動やスポーツの多様性について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	･運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。

7 9	水泳 （クロール・ 平泳ぎ・ 背泳ぎ）	○学習ソフトを活用し、技の例示を通して学習する技の合理的な動き方のポイントを理解したり、自己の技能・体力の程度に適した課題を明らかにしたりする。 ○タブレット端末を活用した動画比較を通して、巧緻性を高めたり、問題を解決したりするための資料とする。また、協働による学習活動での活用を通して、仲間の学習を援助するなどの態度を身に付ける。 ○後追い再生機能付きAV機器の活用を通して、自己の演技を確認し、巧緻性を高めたり、課題を明確にしたりするための資料とする。 ※上記すべての内容を、各単元の学習内容に応じて、適宜活用する。	10	（知識） ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 （技能） ・クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスを取り速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスを取り長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを取り泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
6	球技 （バレーボール）		6	（知識）※球技単元共通 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 （技能） ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組むとともに、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること、仲間の学習を援助しようとすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
10	球技 （ハンドボール）		8	（技能） ・ボール操作と空間を使った動きによってゴール前での攻防ができる。		
1	武道 （柔道）		8	（知識） ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 （技能） ・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり押さえたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	・柔道の特性を踏まえた自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
4 5	ダンス （フォークダンス） （日本の民謡）		9	（知識）※ダンス単元共通 ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 （技能） ・民舞や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとすること、交流などの話し合いに参加しようとすること、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
11 12	ダンス （創作ダンス）		11	（技能） ・多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。		
6 7	保健 （健康な生活と疾病の予防）		6	（知識）※「技能」に関わる評価対象がないことから設定しない。 ・健康は主体と環境の相互作用のもとに成り立つこと、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わりあって発生すること、健康は運動や食生活、休養などの調和をとった生活を続けることが必要であることを理解している。	・課題を発見し、その解決に向けて試行し判断しているとともにそれらを表現している。	・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。
12 1 2 3	保健 （心身の機能の発達と心の健康）		10	（知識・技能） ・身体の発育や発達の時期や程度、個人差について理解している。 ・生殖に関わる機能の成熟について、性差や個人差、及び性に関する適切な態度や行動の選択の必要性を理解している。 ・精神機能の発達と自立との関連性、及び自己形成と社会性の発達との関連性について理解している。 ・精神と身体との関わり、及び欲求やストレスを感じる経緯や対処の仕方を理解し、リラクゼーションの摂り方を行うことができている。	・心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、その解決に向けて習得した知識を活用している。また選択した解決方法を他者に伝えている。	・心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けた活動、及び学習を振り返る活動を積極的に取り組んでいる。
評価材および評価方法				・授業観察　・学習プリント　・定期考査　・実技テスト　・小テスト ・記録会　・発表会　・体力テストの記録　・授業レポート	・授業観察　・学習プリントの内容 ・定期考査　・授業レポートの内容	・授業観察　・学習プリントの内容 ・授業レポートの内容